

## リヤ サスペンション

構成図..... 10-2

仕様..... 10-3

〔C-R X31, MX31・33, E-MX41系

セミトレーリングアーム式 IRS〕

構成部品および締め付けトルク..... 10-4

ショックアブソーバ & コイルスプリング..... 10-5

スタビライザバー..... 10-6

サスペンションアーム..... 10-6

サスペンション ASSY..... 10-7

ダイフアレンシヤル サポートメンバ..... 10-8

リヤホイールアライメント..... 10-9

〔C-R X30, T X30, MX30, E-MX40系

4リンク式〕

構成部品および締め付けトルク..... 10-11

ショックアブソーバ & コイルスプリング..... 10-12

アツパコントロールアーム,

ロワーコントロールアーム... 10-13

ラテラルコントロールロッド..... 10-13

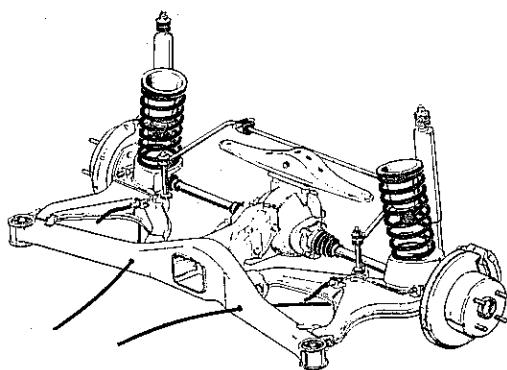
〔H-R X37V, C-MX35系リーフ式〕

構成部品および締め付けトルク..... 10-14

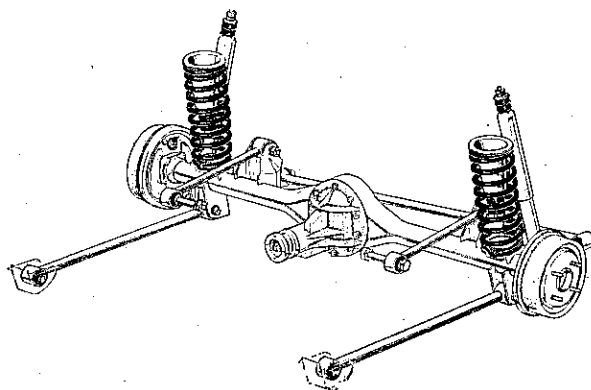
リーフスプリング..... 10-15

構成図

[C-RX31, MX31・33, E-MX41系]



[C-RX30, TX30, MX30, E-MX40系]



[H-RX37V, C-MX35系]

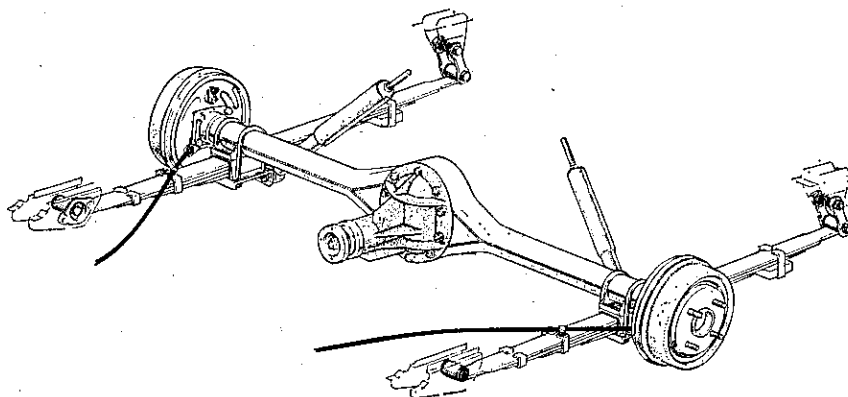


図10-1 構成図

M2081~M2083

仕 様

表10-1 コイル スプリング仕様

車 両 型 式	C-R X30, T X30, M X30, E-M X40系	C-R X31系	C-M X31, M X33, E-M X31系	
線 径 (mm)	12.0	14.0	←	
コ イ ル 平 均 径 (mm)	120	130	←	
総 巻 数	8.42	8.11	←	
自 由 長 (mm)	413	366	←	
取 り 付 け 長 (mm)	249	222	←	
取 り 付 け 荷 重 (kg)	296	396	←	
バ ネ 定 数 (kg/mm)	1.8	2.75	←	
荷 重 分 類 (kg)	白	384~392	←	
	青	392~400	←	
	緑	—	400~408	
	赤 一 個	284~296	—	
	赤 二 個	296~308	—	
コイル スプリング組み合わせ	左 側	赤 一 個	白	青
	右 側	赤 二 個	青	緑

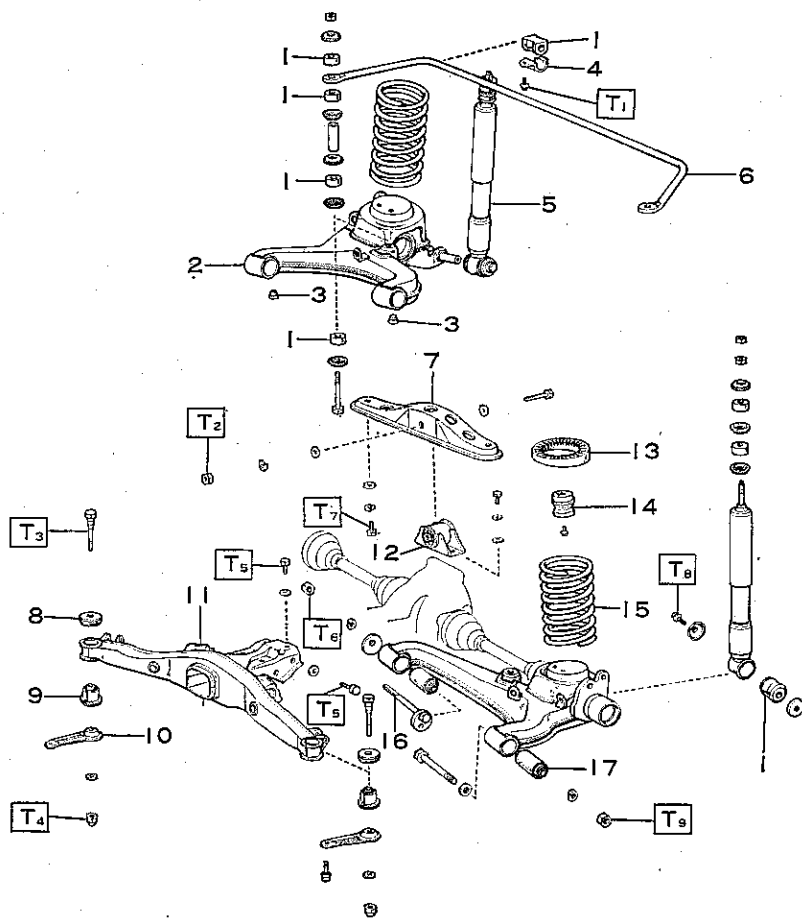
表10-2 アブソーバ仕様

車 両 型 式	H-R X37V		C-R X30, T X30, M X30系	C-R X31, M X31・33, E-M X31系	C-M X35系	
	-R系・-D系	-N系				
ス ト ロ ー ク (mm)	210	←	247	232	205	
最 大 長 (mm)	515	←	602	617	505	
最 小 長 (mm)	305	←	355	390	300	
減 衰 力 (kg [0.3m/sec])	伸 時	76	96	66	50	96
	縮 時	39	43	26	25	43

表10-3 リーフ スプリング仕様

車 両 型 式	H-R X37V (-R系・-D系)	H-R X37V(-N系)	C-M X35系	
幅 (mm)	70	←	←	
厚 さ (mm)	7	6	7   6	
枚 数	3	4	2	
ヘルパ スプリング (mm)	幅	70	←	
	厚 さ	11	13	
キ ャ ン パ (mm)	無負荷時	124	133	107
	負 荷 時	-13~-1 (435kg)	←	-3~9 (306kg)

[C-RX31, MX31・33, E-MX41系セミトレーリングアーム式 IRS]  
構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

T <sub>1</sub>	= 300 ~ 450
T <sub>2</sub>	= 600 ~ 800
T <sub>3</sub>	= 2000 ~ 3000
T <sub>4</sub>	= 1000 ~ 1400
T <sub>5</sub>	= 700 ~ 900
T <sub>6</sub>	= 1150 ~ 1500
T <sub>7</sub>	= 500 ~ 700
T <sub>8</sub>	= 300 ~ 450
T <sub>9</sub>	= 1000 ~ 1350

- 1 ブッシュ
- 2 アーム サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 3 グロメット
- 4 ブラケット, スタビライザ バー
- 5 アブソーバ ASSY, ショック, リヤ
- 6 バー, スタビライザ
- 7 メンバ, デイアレンシヤル サポート
- 8 ストップ, リヤ サスペンション メンバ, アツバ
- 9 クッション, リヤ サスペンション メンバ
- 10 ストップ, リヤ サスペンション メンバ, ロワー
- 11 メンバ サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 12 クッション & ブラケット サブ  
ASSY, デイアレンシヤル サポート
- 13 インシユレータ, リヤ コイル スプリング
- 14 パンパ, リヤ スプリング
- 15 スプリング, コイル, リヤ
- 16 カム ASSY, キャンバ アジャスト
- 17 ブッシュ サブ ASSY, リヤ サスペンション アーム

図10-2 構成部品および締め付けトルク

M2186

## SST, 工具, 計器

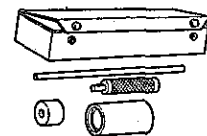
S S T		09710-22030	ツール セット, リヤ サスペンション プシュ
-------------	---	-------------	-------------------------

図10-3

## シヨック アブソーバ &amp; コイル スプリング

取りはずし

- (1) サスペンション メンバをスタンドでささえ、サスペンション アームをジャッキでささえしておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
  - ① ホイール
  - ② ブレーキ ホース クランプ
  - ③ スタビライザ バー エンド
  - ④ シヨック アブソーバ
  - ⑤ ドライブ シャフト
  - ⑥ サスペンション アーム を下げながら コイル スプリング をはずす。

## 〈注意〉

フレキシブル ホースおよびパーキングケーブルを引っ張らないように注意する。

## 点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, プシユの摩耗を点検し, 不良のものは交換する。

## 取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
  - ① コイル スプリング  
 $T=190\sim 310\text{kg}\cdot\text{cm}$  (ボデー側)  
 $T=300\sim 450\text{kg}\cdot\text{cm}$  (アーム側)
  - ② シヨック アブソーバ
  - ③ ドライブ シャフト  
 $T=600\sim 800\text{kg}\cdot\text{cm}$
  - ④ スタビライザ バー
  - ⑤ ブレーキ ホース クランプ
  - ⑥ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

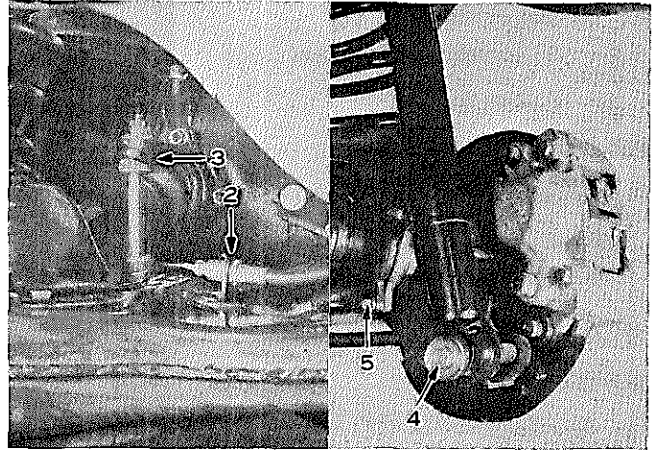


図10-4 シヨック アブソーバ取りはずし

H0167 H0168

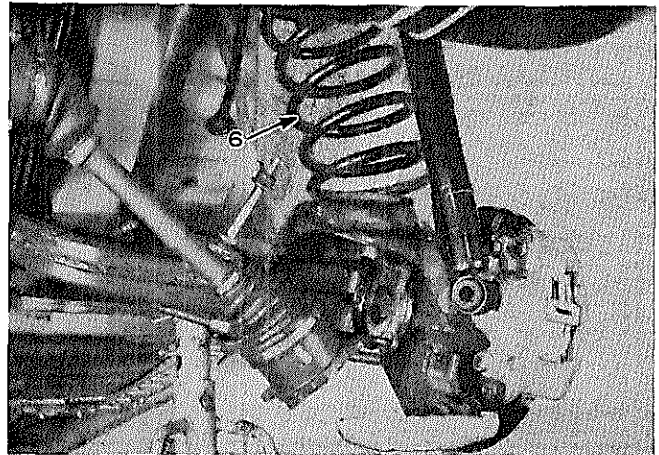


図10-5 コイル スプリング取りはずし

H0169

### スタビライザ バー

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① ブラケット (エンド部, ボデー側)
- ② スタビライザ バー

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシュの摩耗, き裂, 衰損
- ② バーの損傷, まがり

取り付け

(1) ボデー側ブラケット取り付けボルト

$T=300\sim 450\text{kg}\cdot\text{cm}$

### サスペンション アーム

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① フレキシブル ホース  
(ボデー側)
- ② パーキング ケーブル No.2 No.3  
取り付け部  
(ブレーキの項参照)
- ③ コイル スプリング  
(P10-5参照)
- ④ サスペンション アーム

—————(注意)—————

カム プレートのマーク位置を覚えておく。

- ⑤ ブシュ  
SST (09710-22030)

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシュの摩耗, き裂, 衰損
- ② アームの損傷, き裂, まがり

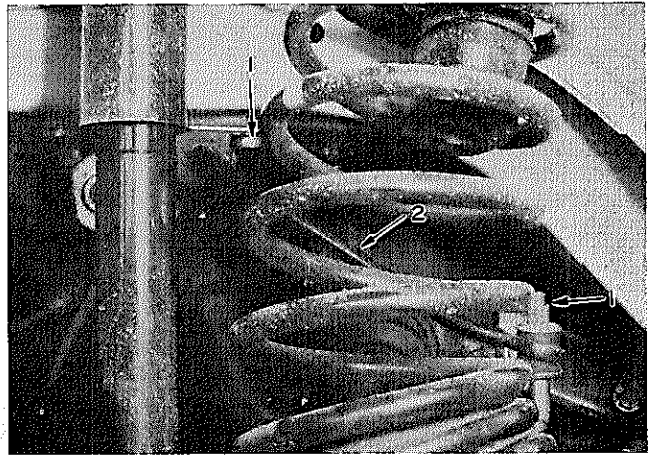


図10-6 スタビライザ バー取りはずし

H0170

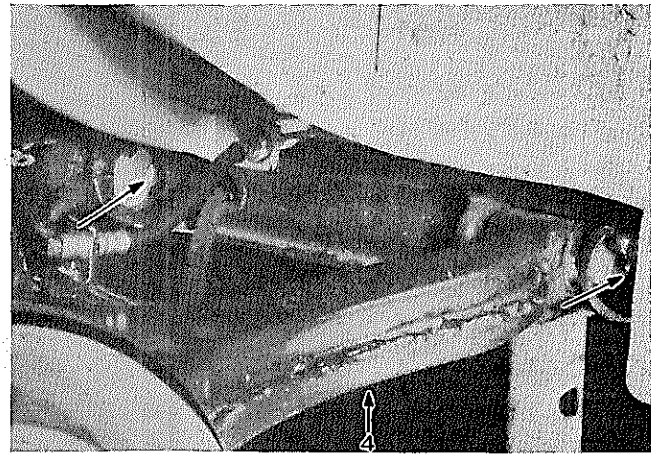


図10-7 サスペンション アーム取りはずし

H0171

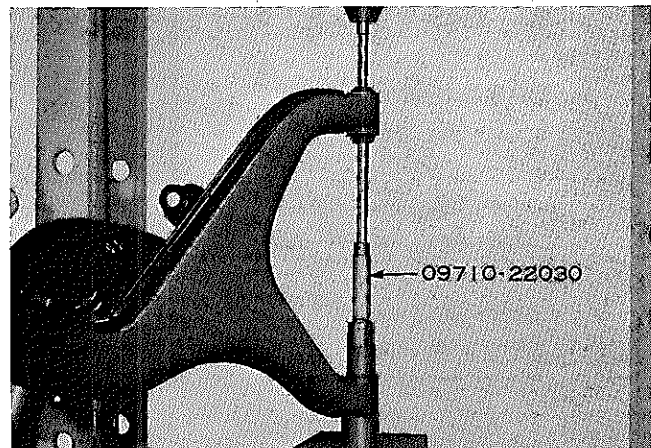


図10-8 ブシュ取りはずし

H0172

取り付け

(1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシユ  
SST (09710-22030)
- ② サスペンション アーム ASSY  
振り締め

〈注意〉

カム プレートのマークはもとの位置にする。

- ③ コイル スプリング  
(P 10-5参照)
- ④ フレキシブル ホース & パーキング ケーブル  
(ブレーキの項参照)

(2) ブレーキのエア抜きをする。

(3) サイド ブレーキ点検

(4) 車両を降し上下に数回ゆすり、車高を基準高さにして、サスペンション アームを締め付ける。

T=1000~1350kg-cm (外側)

T=1150~1500kg-cm (内側)

(5) リヤ トーインを点検、調整する。  
(P 10-9参照)

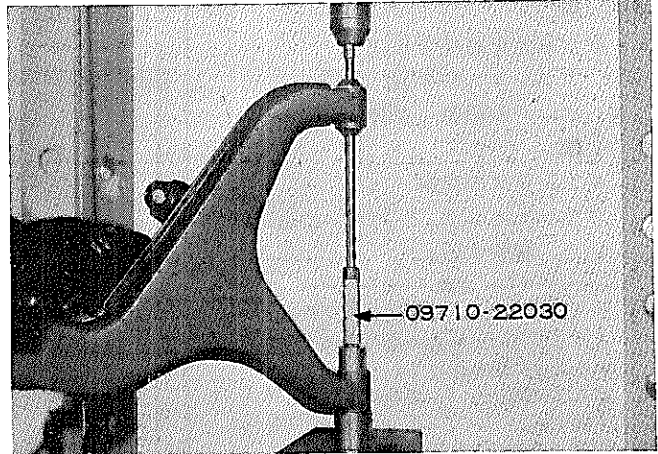


図10-9 ブシユ取り付け

H0173

10

サスペンション ASSY

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① プロペラ シャフト
- ② パーキング ブレーキ ケーブル
- ③ エキゾースト テール パイプ
- ④ ブレーキ フレキシブル ホース  
(ブレーキの項参照)
- ⑤ コイル スプリング (P 10-5参照)
- ⑥ リヤ サスペンション ASSYを  
をジャッキでささえる。
- ⑦ デイフアレンシヤル サポート  
メンバ取り付けボルト
- ⑧ バック シート クツション
- ⑨ サスペンション メンバ 取り付け  
ボルト & ナット
- ⑩ サスペンション ASSY

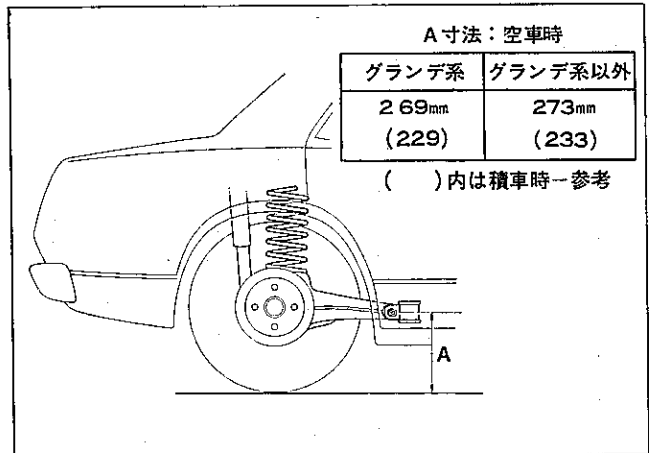


図10-10 車高規制時高さ

M1474

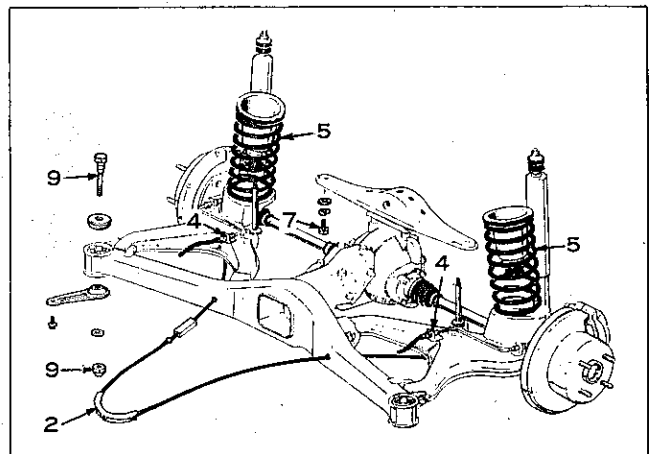


図10-11 サスペンション ASSY取りはずし

M2187

点 検

- (1) 次の部品を点検する。  
 ① クッションのき裂、衰損  
 ② メンバの損傷、き裂、まがり

交 換

- (1) クッションの交換  
 プラスティックハンマなどを用いて、脱着する。

〈注意〉

- 1 クッションはメンバ下側から打ち込み  
 スグリの方向は車両の進行方向と一致するように組み付ける。  
 2 組み付け時、ラバー部を打たないように注意する。

組み付け

- (1) サスペンション ASSY をジャッキアップし次の部品を組み付ける。
- ① サスペンション メンバ取り付けボルト & ナット  
 $T=2000\sim 3000\text{kg}\cdot\text{cm}$  (上側ボルト)  
 $T=1000\sim 1400\text{kg}\cdot\text{cm}$  (下側ナット)
- ② バックシート  
 ③ デイフアレンシヤル サポートメンバ取り付けボルト  
 $T=500\sim 700\text{kg}\cdot\text{cm}$
- ④ コイル スプリング (P10-5参照)  
 ⑤ ブレーキ フレキシブル ホース  
 ⑥ エキゾースト テール パイプ  
 ⑦ パーキング ブレーキ ケーブル (ブレーキの項参照)
- ⑧ プロペラ シャフト

デイフアレンシヤル サポート メンバ

取りはずし

- (1) メンバを取りはずす。

点 検

- (1) クッションのき裂、衰損、メンバの損傷、き裂、まがりを点検する。

交 換

- (1) クッションの交換  
 プラスティックハンマなどを用いて脱着する。

〈注意〉

そう入方向とスグリ部分に方向性があるので注意する。

- (4) メンバを取り付ける。

$T=500\sim 700\text{kg}\cdot\text{cm}$

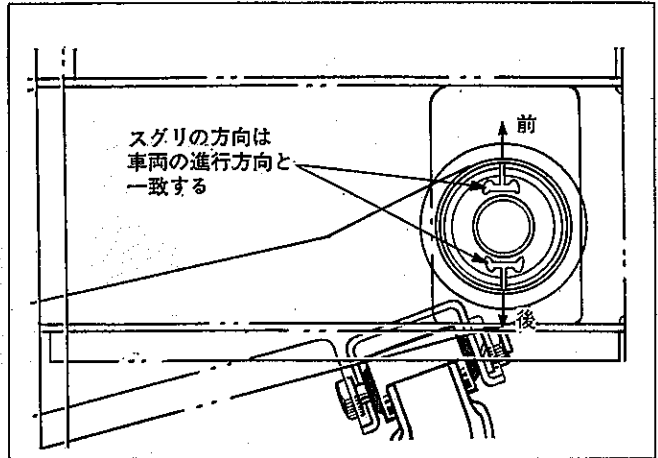


図10-12 クッションの交換

M1475

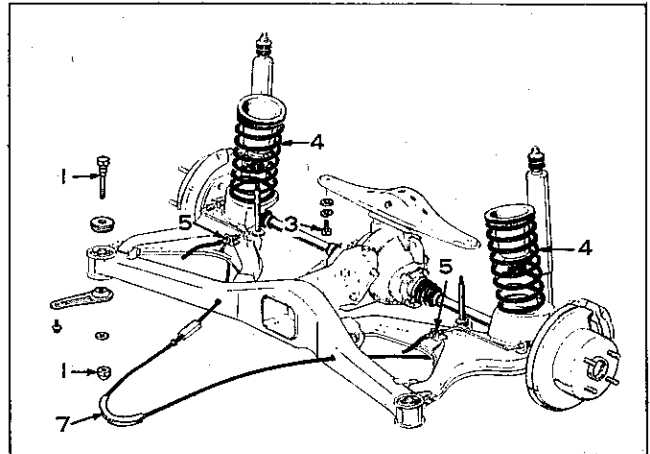


図10-13 サスペンション ASSY取り付け

M2187

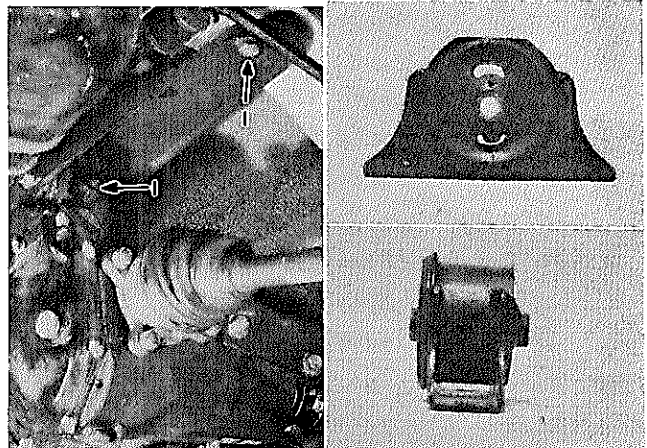


図10-14 サポート メンバ取りはずし

H0174 H0175 H0176

## リヤ ホイール アライメント

## 前作業

(1) 次の項目を点検する。

- ① タイヤの摩耗, 空気圧 (P11-27参照)
- ② ホイール振れ
- ③ 関係各部ボルトのゆるみ
- ④ リヤ アクスル シャフトのガタ

~~~~~<注意>~~~~~

シャフトにガタのある場合は, 次の手順で調整する。

- 1 ホイール, ブレーキ ディスク, ドライブ シャフトを取りはずし, アクスル シャフトの締め付けナットを新品と交換する。
- 2 アクスル シャフトのガタを確かめながら, 5~10°ずつナットを締め込み, ガタをなくす。  
ただし, 締め付けトルクが  $T=2000\text{kg}\cdot\text{cm}$  を超えても, ガタがある場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-21参照)
- 3 アクスル シャフトの回転プレロードを測定し,  $9\text{kg}\cdot\text{cm}$  以下であることを確認する。  
ただし, 回転プレロードが  $9\text{kg}\cdot\text{cm}$  を超えている場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-21参照)

- ~~~~~
- ⑤ リヤ アクスル アーム取り付け部のガタ
  - ⑥ リヤ サスペンション メンバの取り付け部のガタ
  - ⑦ 車高 (P11-28参照)

## トーイン点検

トーイン基準値 (空車時)

-3.6~+0.4mm

ただし, トーインはサイド スリツプの測定値により, 良否の判定をする。

サイド スリツプ基準値 (空車時)

1mにつき, アウト, インともに 3mm以内

## トーイン調整

- (1) サイド スリツプ測定値が基準値からはずれる場合は, ディスク ホイールとデイフアレンシヤル リヤ カバー 取り付けボルト中心間距離を, 左右測定し, その差が5mm以上ならば, 5mm以内になるまで, どちらか一方のサスペンション アームのカムで調整する。  
(ターニング ラジラス ゲージ上にて調整する。)

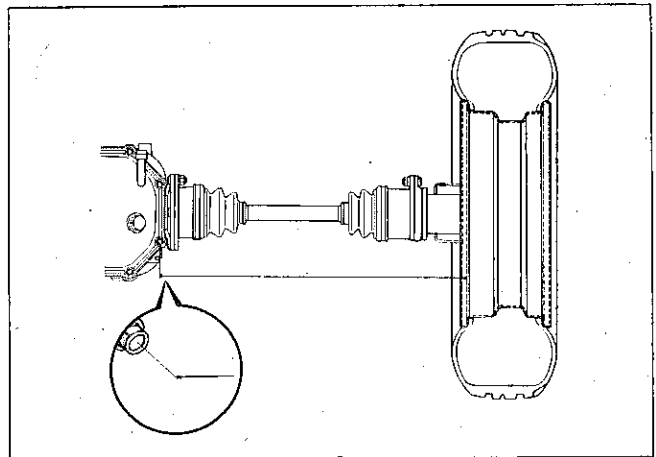


図10-15 左右寸法測定

M2084

## 10-10 リヤ サスペンション

### 〈注意〉

- 1 サイド スリッパ測定値がアウト側にはずれるときは、寸法の短い方のアームのカムで長くする。
- 2 イン側にはずれるときは、寸法の長い方のアームのカムで短かくする。
- 3 カム位置は、中心位置から5目盛以上回さない。

- (2) 左右のカムを同量ずつ回し、サイド スリッパが基準値内に入るよう調整する。

### 〈参考〉

カム1目盛(片側)回すと、サイド スリッパは、約1.5~2.5mm(1mにつき)変化する。

- (3) 調整できない場合は、キャンバを測定する。

キャンバ基準値(空車時)

0~1°

計器 キャンバ キヤスタ キング  
ピン ゲージなど

測定値が基準値からはずれる場合は、サスペンション アームなどを点検、交換する。

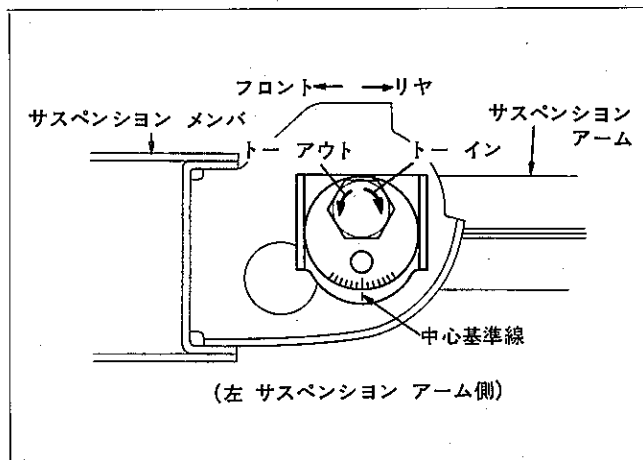


図10-16 カム調整

M2085

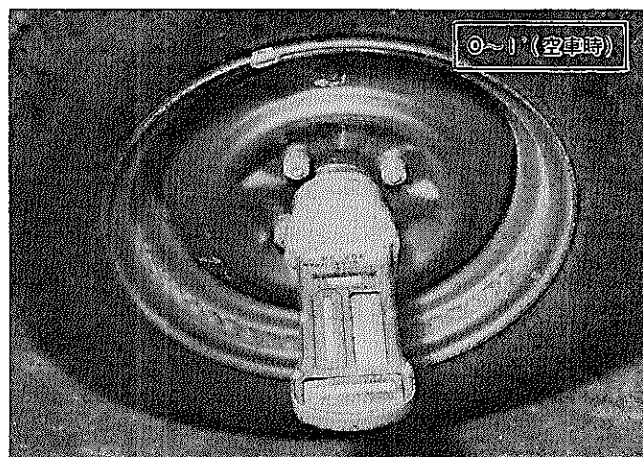
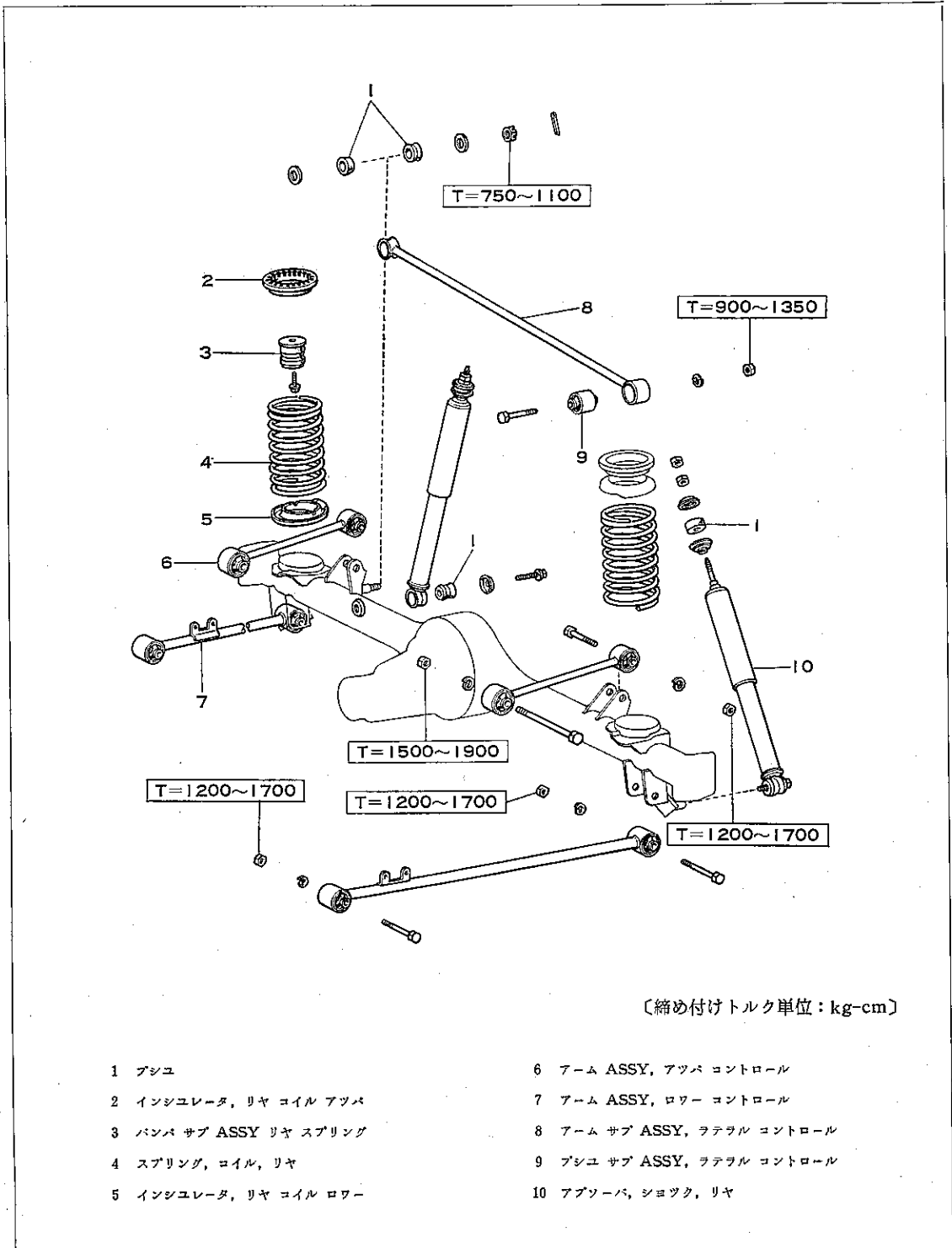


図10-17 キャンバ測定

H0547

〔C-RX30, TX30, MX30, E-MX40系 4 リンク式〕

構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

図10-18 構成部品および締め付けトルク

M2086

SST, 工具, 計器


|             |                                                                                   |             |                     |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------|
| S<br>S<br>T |  | 09716-30010 | ツール, アツバ コントロール アーム |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------|

図10-19

## ショック アブソーバ & コイル スプリング

### 取りはずし

- (1) フレームをスタンドでささえ、リヤ アクスルハウジングをジャッキでささえしておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
  - ① ホイール
  - ② ショック アブソーバ
  - ③ ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)
  - ④ リヤ アクスルハウジングを下げながらコイル スプリングをはずす。

―――<注意>―――

フレキシブル ホースおよびパーキングブレーキ ケーブルを引つ張らないように注意する。

### 点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, ブシユの摩耗を点検し, 不良のものは交換する。

### 取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
  - ① コイル スプリング
  - ② ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)  
 $T=750\sim 1100\text{kg}\cdot\text{cm}$
  - ③ ショック アブソーバ  
 ボデー側  $T=190\sim 310\text{kg}\cdot\text{cm}$   
 ハウジング側  $T=300\sim 450\text{kg}\cdot\text{cm}$
  - ④ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

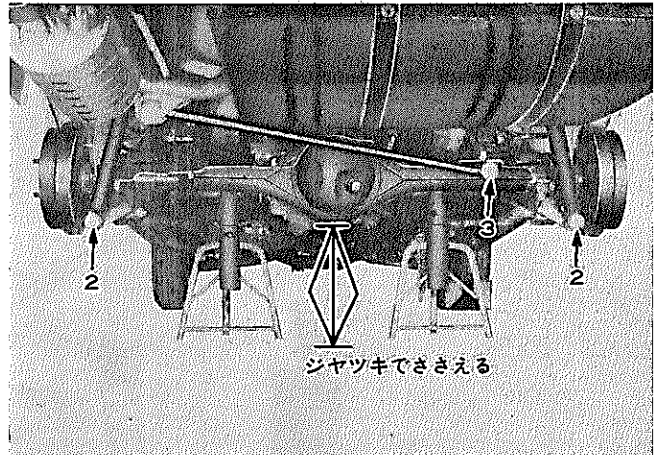


図10-20 ショック アブソーバ取りはずし

H0177

## アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし、フレームをスタンドでささえる。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

点 検

- (1) コントロール アームのまがり、き裂、ブシユの衰損などを点検する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

|                |                                                 |                                                 |
|----------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| アツパ コントロール アーム | ボデー側 $T=1500\sim 1900\text{kg}\cdot\text{cm}$ , | ハウジング側 $T=1200\sim 1700\text{kg}\cdot\text{cm}$ |
| ロワー コントロール アーム | 両端ともに $T=1200\sim 1700\text{kg}\cdot\text{cm}$  |                                                 |

~~~~~<注意>~~~~~

コントロール アーム取り付けボルトは、空車状態で締め付ける。

~~~~~

## ラテラル コントロール

## ロッド

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし、フレームをスタンドでささえる。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① ラテラル コントロール ロッド
- ② ブシユ  
SST〔09716-30010〕

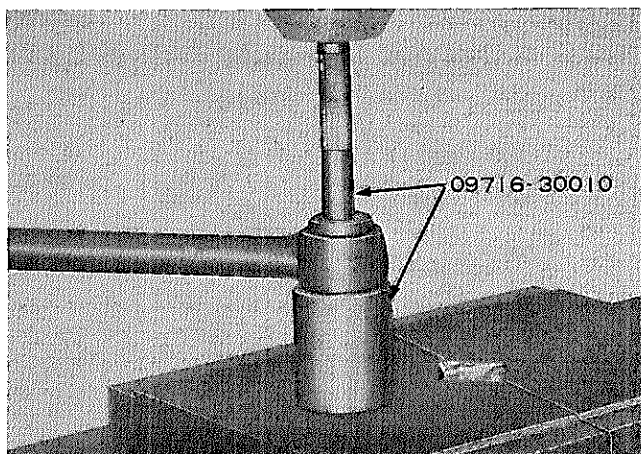


図10-21 ブシユ取りはずし

V4822

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシユ  
SST〔09716-30010〕
- ② ラテラル コントロール ロッド  
ボデー側  $T=900\sim 1350\text{kg}\cdot\text{cm}$   
ハウジング側  
 $T=750\sim 1100\text{kg}\cdot\text{cm}$

~~~~~<注意>~~~~~

- 1 ブシユのスグリの向きは車両の進行方向と一致するように組み付ける。
  - 2 ラテラル コントロール 取り付けボルトは、空車状態で締め付ける。
- ~~~~~

- (2) スタンドを取りはずす。

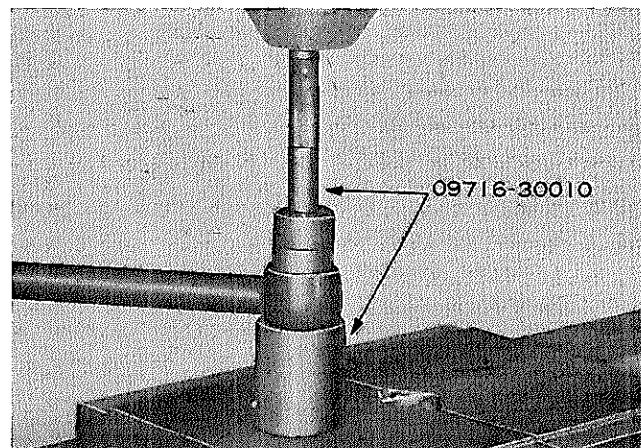


図10-22 ブシユ取り付け

V4822



## リーフ スプリング

### 取りはずし

- (1) フレームをスタンドでささえ、ジャッキでリヤ アクスルハウジングをささえしておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
  - ① ホイール
  - ② ショック アブソーバ下部
  - ③ パーキング ブレーキ ケーブルのクランプ サポート プレート
  - ④ U ボルト, シート & パッド (下側)
- (3) アクスルハウジングがスプリングから浮くまでジャッキアツプし、次の部品を取りはずす。
  - ⑤ パッド リテーナ & パッド (上側)

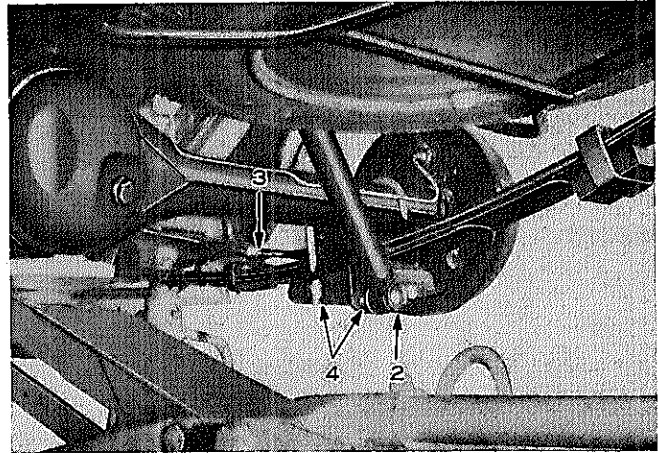


図10-24 リーフ スプリング取りはずし (その1)

H0182

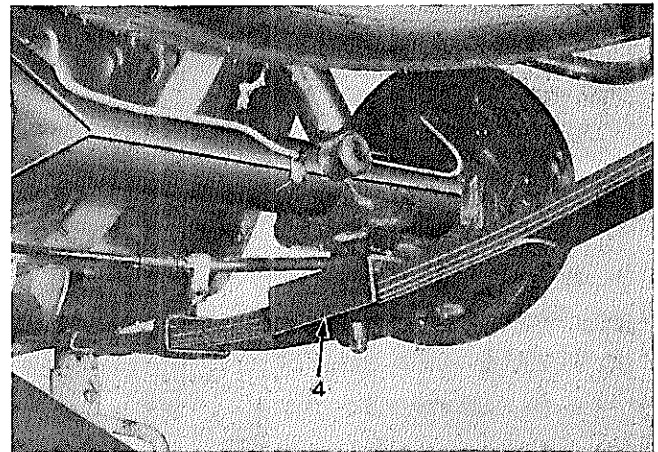


図10-25 リーフ スプリング取りはずし (その2)

H0178

- ⑥ スプリング ブラケット ピン & プシユ
- ⑦ スプリング シャツクル & プシユ
- ⑧ スプリング シャツクル インナプレート

＜注意＞

シャツクルの取り付けボルトの取り付け方向が、左右非対称であるので注意する。

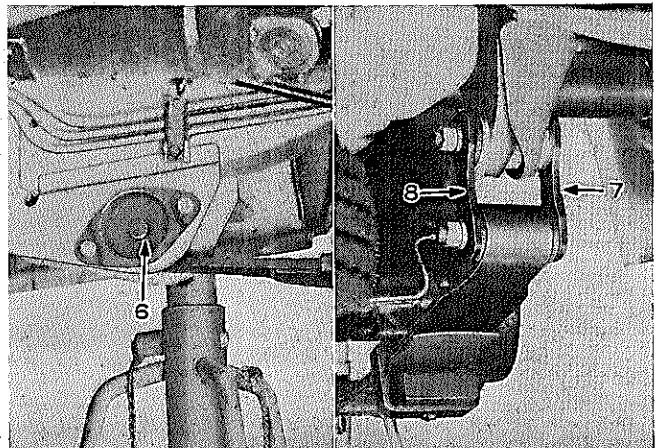


図10-26 シャツクル ピン & プシユ取りはずし

H0179 H0180

分 解

- (1) クリツプを起こす。
- (2) スプリングをバイスにはさみ、センタ ボルトを取りはずす。
- (3) スプリング サイレンサをはがす。

組み付け

- (1) スプリング サイレンサを接着する。
- (2) センタ ボルトをスプリングに通し、バイスなどでスプリングを圧縮して、センタ ボルトを締め付ける。
- (3) スプリング クリツプをまげる。

取り付け

- (1) スプリング前端に内側ブシユを組み付け、ハンガにそう入する。
- (2) 次の部品を組み付ける。
  - ① 前端外側のブシユ
  - ② ハンガ ピン (仮り締め)
  - ③ 後端ブシユ & ハンガ ブシユ
  - ④ シャツクル & ピン(仮り締め)
  - ⑤ パツド & パツド リテーナ
- (3) リヤ アクスルのスプリング シート穴をセンタ ボルトに合わせてリヤ アクスルを降す。
- (4) 次の部品を組み付ける。
  - ⑥ U ボルト & シート  
T=700~900kg-cm
  - ⑦ ショック アブソーバ  
T=300~450kg-cm
  - ⑧ パーキング ブレーキ ケーブルのクラシブ サポート プレート
  - ⑨ ホイール
- (5) スタンドをはずし、ブラケットピン & シャツクル ピンを締め付ける。

ブラケット ピン T=300~450kg-cm  
 シャツクル ピン T=500~700kg-cm

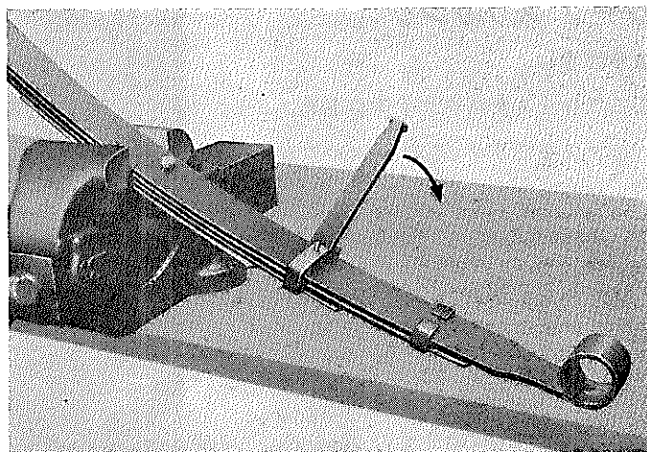


図10-27 リーフ スプリング分解

H0181

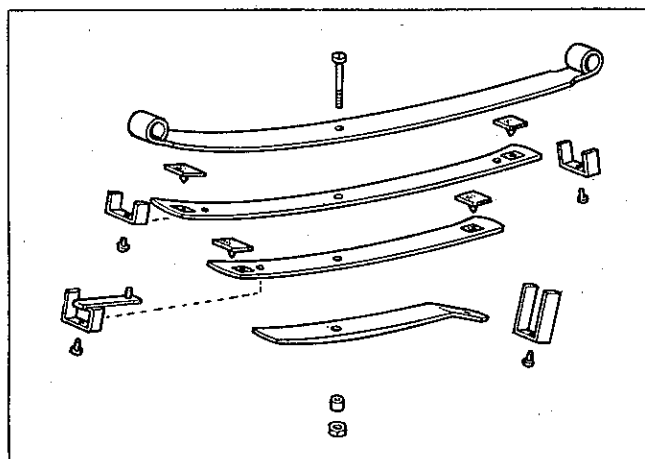


図10-28 リーフ スプリング構成

M2188

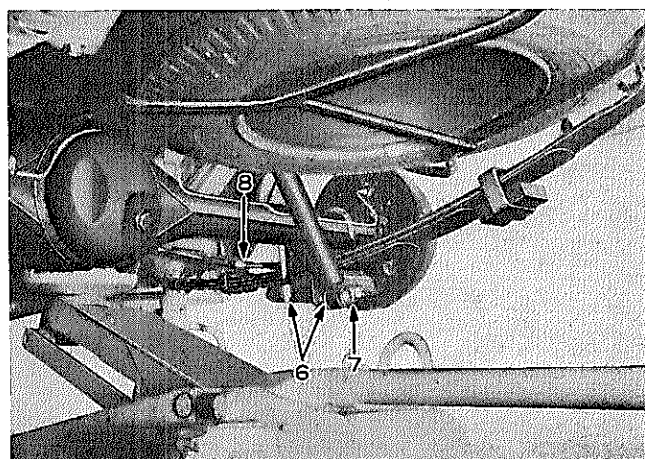


図10-29 リーフ スプリング取り付け

H0182

〈注意〉

ピン & シャツクル ピンの 締め付けは、空車状態で行なう。